情報メディア教育研究センター活動報告

上田 浩

2024年2月20日

法政大学 情報メディア教育研究センター 副所長/教授



この時間は

本研究センターは2021-2024中期計画に基づき事業を行っております.研究センターの概要の紹介ならびに同計画3年目となる今年度の事業を総括します.

ゴール

次のいずれかもしくは全て:

- ・(学生) 研究センターの活動に参加したい
- ・(研究者/企業) 共同研究を立案したい
- ・(企業) 次期ラボラトリの検討に参画したい

研究センターの概要

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備 ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進 大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進

研究センターの概要

事業内容



情報メディア教育 研究センター

Research Center for Computing and Multimedia Studies

センター概要

研究活動

刊行物

サービス

利用案内

GDPRプライバシーポリシー



情報メディア教育研究センターは、大規模情報システム、情報メディア教育システムの研究開発を推進し、情報メディアを活用した教育の企画・立案・実施の支援及び 業務への支援を行うことにより、メディア基盤に係わる教育・研究の発展と情報技術の活用を図ることを目的として設置され、次に掲げる事業を行っています。

- 1. 大規模情報システムと計算科学の総合的な研究及び調査に関すること。
- 2. 教育支援システムの研究及び開発に関すること。
- 3. 情報メディア教育の普及,指導に関すること。
- 4. 多様なメディアを高度に利用して行う教育の内容,方法等の研究及び開発に関すること。
- (1)~(4)に関する教育の企画・立案及び支援に関すること。
- 6. (1)~(4)を通じた社会連携および社会貢献に関すること。

→ 沿革	→ 組織

研究センターの概要

事業内容



情報メディア教育 研究センター

Research Center for Computing and Multimedia Studies

センター概要

研究活動

刊行物

サービス

利用室内

GDPRプライバシーポリシー

法政大学情報メディア教育研究センターでは、ICTを活用した教育支援と計算科学の研究を推進しています。これらの活動において最先端のラボラトリシステムが活用

https://www.hosei.ac.jp/media/research/

、本成人子有報をアイア教育研究でフターでは、にいる活用した教育支援と計算科学の研究を推進しています。これらの活動において最近特のフホフトリンステムが活用 されています。具体的な研究テーマは「研究プロジェクト」に記載されています。

ICTを活用した教育支援

研究活動

次のようなテーマで研究を実施し、成果を本センターの実施する教育支援事業に活かすこととしています。本学の学習支援システムは本センターの研究成果をもとに運用されています。

- LMS(Learning Management System)をはじめとする教育支援システムの開発と利用推進
- スマートデバイスを活用した学習支援
- 教育におけるAIの活用

計算科学

計算科学は数値シミュレーションを科学の諸領域に適用する研究分野です。本研究センターでは、前身である計算科学研究センターの設立以来、計算科学の研究を進めています。対象領域は航空宇宙工学、物理学、化学など多岐にわたります。

2021-2024中期計画

前身となる計算センターからの伝統と、時代の要請に応じ本学に 貢献してきた実績を踏まえ、計算科学に加えデータサイエンスの 基盤を整備し、ICTを活用した新たな教育モデルの構築を目指す.

- ・計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備
- ・ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進
- ・大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進

2021-2024 中期計画の実行計画

- ・計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備
 - ・ 研究基盤としてのハードウェアとソフトウェアの戦略的整備
 - ・ 研究基盤の利活用のためのヒューマンウェアの整備
 - ・研究成果のオープン化
- ・ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進
 - ・学びのモデル化に関する基礎的研究
 - ・ICTを様々な分野に活用した教育実践
- ・大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進
 - ・ 連携プロジェクトの実施
 - ・ 学会等研究コミュニティへの貢献

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進

大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進

研究基盤としてのハードウェアとソフトウェアの戦略的整 備

ラボラトリ(lab2022)



- ・GPU利用サービスの利用推進
 - OpenACC を用いた GPGPU プログラミング技法ドキュメント提供
 - · 11/1(水)MPS 講習会開催
- ・ライセンス利用状況可視化
- ・数値計算・Deep Learning 基盤の開発
- ・シミュレーションソフトウェアの基盤 の開発
 - ・独 FewBody 学会での査読付発表

研究基盤の利活用のためのヒューマンウェアの整備

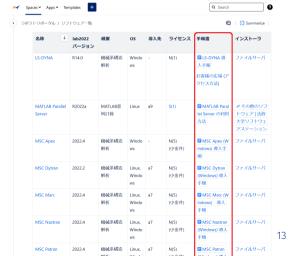
プログラム高速化支援

情報科学部 善甫康成教授

TDDFT(時間依存密度 汎関数法)

デザイン工学部 酒井久和教授 SPH(堤防の越流破壊 解析手法)

lab2022ドキュメント整備



研究成果のオープン化

- · 研究報告発行
 - ・T_EX 入稿 対応
- ・シンポジウム 開催
- ・広報チャネル の有効活用





事業内容

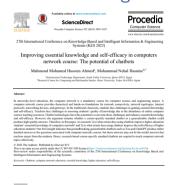
計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備

ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進

大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進

学びのモデル化に関する基礎的研究

Active Learning



TBLT 教育モデル/ 技術



タスクベース言語学 習支援







This is an open access actuse under the CC RT-AC-ND issues (https://www.invectors.org/issuese/isy-ac-nd/13)
Peer-review under responsibility of the scientific committee of the 27th International Conference on Knowledge Based

Corresponding author.

E-most address: subat hasnine.79@hossi.ac.jp.

ICTを様々な分野に活用した教育実践

Ubiquitous Learning



M. N. Hasnine, Huyen T. T. Bui and H. Ueda, A Chatbot for Image Recommendation in Mobile Language Learning, In the Workshop Proceeding of 31st International Conference on Computers in Education, December 4-8, Matsue, Japan, pp.684-688, 2023.

Emotion-aware LA

A Real-Time Learning Analytics Dashboard for Automatic Detection of Online Learners' Affective States

A Rear Territ Executing Assignment Season Control of Automatic Detection of Control Execution of Automatic Detection of Control Execution of Automatic Detection of Control Execution of Control Execu

Server 2023, 2035, 4243, Ampatibility 918,3399423394243

Schmidtelin modern 2 March 2021 (Society 58 And 2021 (Account 58 And 2021) (Society 2021)

March 2023 / Ronford: 15 April 2023 / Accepted: 15 April 2023 / Published: 24 April 2023 - Epockal house Advances of Services and Human Cardened Intelligent Systems in Education

The second of the control of the second of the control of the cont

1. Introduction

With 6 and grown's flowering schools belonging or much advanture, has become growed in squared and the same with a principal delargement of the same o

In this sensing, the profess of stated discognization and part consistents is gaining authors. In this discourse, shades an appropriate country of the profession of the profe

https://doi.org/10.3390/s23094243 (Ref. next talk by Prof. Hasnine.)





事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備 ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進

大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進

連携プロジェクトの実施

原子力機構

国立情報学研究所



国立教育政策研究所



データ駆動型教育

有機物とランタニドの錯形成に関する 量子科学研究 ラーニングアナリティクス基盤の開発

研究プロジェクトへの本学**大学院生** RA/学部生臨時職員の参加

学会等研究コミュニティへの貢献

KES2023 Invited Session

IS14: Aspects of Intelligent Learning Systems - Learning Across Various Educational Contexts Prof. Hisball Uses Wednesday 6th September 2023 - 19.39 - 12.39 EEST Room 9					
Session Code	Title	Main Author	Other Authors		
	Students interest in knowledge acquisition in		Dr. Pop Emilia-loredana, Dr. Tudor		
k23-132	Artificial Intelligence	Dr. Petrescu Manuela-Andreea	Mihoc		
	Virtual Hydrogen, a virtual reality education tool in				
k23-287	physics and chemistry	Prof. Hiroya Suno	Prof. Nobuaki Ohno		
k23-313	Online Technology-Based Microteaching in Teacher Education: A Systematic Literature Review	Mr. Hayato Sezaki	Prof. Satori Hachisuka, Prof. Kayoko Kurita, Ms. Yanran Lei, Prof. Shin'ichi Warisawa, Ms. Yushan Xu		
k23-318	Awareness and learning for initial configuration of an webserver	Student Taisei Matsuo	Professor Kenji Matsuura, Professor Hironori Takeuchi		
k23-319	Applications of a fuzzy controller in adaptive e- learning content used to evaluate student activity	M.eng. Marcin Szczepański	Professor Jacek Marciniak		
k23-491	Improving essential knowledge and self-efficacy in computers network course: The potential of chatbots	Dr Mohammad Nehal Hasnine	Dr Mahmoud Mohamed Huss Ahmed		
k23-470	Implementation of Anonymization Algorithms for Log Data Analysis on a Cloud-Based Learning Management System	Associate Professor Osamu Takaki	Professor Kento Aida, Associate Professor Nobukuni Hamamoto, Professor Atsuko Takefusa, Researcher Shigetoshi Yokoyama		



大学ICT推進協議会

13AM1A 生成系AIを教育に活かすには

教育技術開発部会(提案責任者:上田浩(法政大学)) 日時: 2023/12/13 9:30~11:00 金橋: A会場の

セッション概要

生成系AIは社会に大きなイノベーションをもたらし、高等教育もその例外ではない。本セッションでは、生成系AIの教育利用に関する先進 的な事例を紹介し、それらに基づく議論を行う。

- 1. 外国語教育における利用
- 2. プログラミング教育における利用
- 3. 企業による教育における利用

プログラム

9:30 - 9:35	セッションの進め方 武田 考正 (株式会社内田洋行,教育技術開発部会副査)	
9:35 - 9:55	外国語教育における利用 卯木 輝彦 (関西外国語大学)	資料
9:55 - 10:15	プログラミングと生成AI 意光 君郎 (日本女子大学)	資料
10:15 - 10:35	企業による教育における利用 選井康智 (ライフイズテック株式会社)	資料
10:35 - 11:00	パネルディスカッション 上田 清 (活改大学、教育技術開発部会主意) 表光 岩郡 (日本女大学) 選井 康智 (ライフィズテック株式会社)	資料

2023年度業績

論文	5
国際会議論文	3
国内研究会論文	3
基調講演, 招待講演	5
研究会・セッション主催	5

研究センターの概要

事業内容

計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備 ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進 大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進

ゴール

次のいずれかもしくは全て:

- ・(学生) 研究センターの活動に参加したい
- ・(研究者/企業) 共同研究を立案したい
- ・(企業) 次期ラボラトリの検討に参画したい

ゴール

次のいずれかもしくは全て:

- ・(学生)研究センターの活動に参加したい
- ・(研究者/企業) 共同研究を立案したい
- ・(企業) 次期ラボラトリの検討に参画したい

Join us!

How to join?



2024年1月XX日 関係条位

> 情報メディア教育研究センター 所長 酒井 久和

情報メディア教育研究センター 2024年度 研究プロジェクト募集

素は本センターの研究活動に対し格別のご高足を傷り所く御礼中し上げます。本センターは、大規模構 頼システム、情報メディア教育システムの研究開発を推進し、情報メディアを活用した教育の企画。立 業・実施の支援及び業務への支援を行うことにより、メディア基盤に係わる教育・研究の限化と情報技術 の活用を図ることを目的として設置され、事業を行っております。研究の実施においては最先端のラポ ラトリが活用も入れています。

ラボラトリ(lab2022)のご利用は、年度ごとの研究プロジェクトによるものとしております。2024 年度の研究プロジェクトを以下の通り募集いたします。

2024年1月27日

関係各位

情報メディア教育研究センター 所長 酒井 久和

法政大学 情報メディア教育研究センター 研究報告 Vol. 39

投稿募集 [2024年3月14日 締切]

法政大学 情報メディア教育研究センターでは、情報技術とメディアを活用した教育・研究の成果なら びにその過程で得られた知見を報告することを通じ、情報技術とメディアの活用の密豪を行うことを目 的に、紀要 [法政大学情報メディア教育研究センター研究報告] を発行しております。以下の通り本紀 要の Val 39 の投稿を各集いたします。ラポラトリの利用有無に関わらず、情報技術やメブィの教育 と研究に関する研究論文、サーベイ/解説、事例/調査報告/テクニカル/ート、研究・開発プロジェ